

令和8年3月6日

保護者 様

新居浜市立中萩小学校
校 長 畑野 一恵

令和7年度 学校評価（保護者・児童）の集計結果のお知らせ

仲春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、12月末には教育活動についてのアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。保護者の皆様からご回答いただいたアンケートと児童の生活アンケート結果、及び教職員の自己評価を基に、中萩校区学校運営協議会による学校評価を行いました。結果を報告いたしますとともに、皆様からいただいたご意見を次年度の取組に生かし、更により良い教育活動、教育実践となるよう改善を図っていきたいと考えております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

Ⅰ 児童アンケートの結果と分析・改善策

令和7年12月 評価方法 ア:大体できている イ:できている ウ:あまりできていない エ:できていない それぞれの回答数を百分率で示した。アとイの百分率の合計を肯定的評価としている。 (単位%)								
No.	項目	ア	イ	ウ	エ	合計	R7 ア+イ	R6 ア+イ
1	学校に行くのが楽しい	48	34	12	6	100	81	82
2	学校の勉強が楽しくよく分かる	33	45	15	7	100	78	81
3	タブレット(iPad)を利用した授業は、楽しくよく分かる	65	26	7	2	100	92	91
4	友達を大切に、仲良くしている	75	20	4	1	100	95	94
5	お家や地域であいさつや返事ができている	59	28	10	3	100	87	89
6	読書をしている	40	28	22	10	100	68	71
7	そうじやお手伝いをしている	47	34	16	3	100	80	80
8	けがをしないように安全に気を付けている	60	28	8	4	100	89	89
9	周りの人は、がんばったことをほめてくれる	45	34	13	8	100	82	82
10	周りの人は、話を聞いてくれる	55	32	10	3	100	86	88
11	家庭学習の習かんが身に付いている	45	32	16	7	100	79	78
12	早ね、早起きができている	35	30	21	14	100	70	73
13	家族と学校のことをよく話す	51	26	15	8	100	78	81
14	地域の行事に参加することは楽しい	52	27	13	8	100	81	77

令和7年度の児童アンケート結果から、児童は学校生活を全体として肯定的に捉えており、特に「友達を大切にし、仲良くしている」「タブレット（iPad）を利用した授業は楽しく分かる」といった項目で高い評価が得られました。人間関係の良好さやICTを活用した学習が、安心して学べる学校づくりに結び付いていることがうかがえます。また、「けがをしないように安全に気を付けている」「お家や地域であいさつや返事ができている」など、基本的な生活態度についても高い水準を維持しており、日常の生活指導の成果が表れています。

一方で、「読書をしている」「早寝・早起きができている」といった生活習慣や、「学校の勉強が楽しくよく分かる」といった学習理解に関する項目では、肯定的評価がやや低い傾向が見られました。これらは家庭や地域との連携が重要な課題であり、学校と地域全体で児童の成長を支えていく必要があると考えます。

2 保護者アンケートの結果と分析・改善策

令和7年12月

評価方法 ア:大体できている イ:できている ウ:あまりできていない エ:できていない それぞれの回答数を百分率で示した。アとイの百分率の合計を肯定的評価としている。 (単位%)								
No.	項目	ア	イ	ウ	エ	合計	R7 ア+イ	R6 ア+イ
1	楽しく学校に通うことができますか	56	38	5	1	100	94	96
2	学校で学習したことを身に付けることができますか	27	61	11	1	100	88	89
3	学校は、楽しくよく分かる授業ができていますか	32	59	9	0	100	91	91
4	学校は、ICT（電子黒板やタブレット）を活用した授業ができていますか	49	47	4	0	100	96	95
5	友達を大切にし、仲良く生活できていますか	56	41	3	0	100	97	98
6	家庭や地域で、挨拶や返事ができていますか	34	53	13	0	100	87	86
7	読書をよくしていますか	20	21	42	17	100	41	47
8	掃除や手伝いをしていますか	20	38	36	6	100	58	55
9	学校は、環境整備に努め、安全・安心な学校づくりができていますか	37	59	3	1	100	96	94
10	学校は、お子さんを大切にし、その良さを認める関わり方ができていますか	41	52	6	1	100	93	93
11	学校は、家庭からの相談に適切に応じることができていますか	49	45	5	1	100	94	94
12	家庭学習の習慣を身に付けることができますか	26	51	21	2	100	77	78
13	早寝・早起き・朝ご飯などの生活習慣を身に付けることができますか	40	45	14	1	100	85	83
14	学校と家庭と地域が一体となって、子どもたちの教育を行うことができますか	25	65	8	2	100	90	87

令和7年度の保護者アンケート結果から、学校の教育活動全体に対して高い評価が得られていることが分かります。特に、「楽しく学校に通っている」「友達を大切にし、仲良く生活できている」「ICTを活用した授業が行われている」「安全・安心な学校づくりができています」などの項目では、肯定的評価が90%を超えており、学校生活や学習環境

に対する保護者の信頼がうかがえます。また、「子どもを大切にし、良さを認める関わり」「家庭からの相談への対応」についても高い評価を維持しており、学校の姿勢や対応が概ね評価されています。

一方で、「読書をよくしている」「掃除や手伝いをしている」といった家庭生活に関わる項目では、肯定的評価が比較的低く、課題が見られます。また、「家庭学習の習慣」についても一定の成果は見られますが、更なる定着に向けた取組が必要です。これらは学校だけで解決することが難しく、家庭や地域との連携をより一層深めていく必要があると考えます。

今後は、学校の強みである安心できる人間関係づくりや ICT 教育を生かしながら、家庭生活や学習習慣の改善に向けて、家庭・地域と協働した取組を進めていきたいと思えます。

3 中萩校区学校運営協議会委員の方々のご意見

<児童の様子>

- ・ほとんどの項目で肯定的評価が多数を占め、充実した学校生活を送ることができている児童が多い。読書や早寝早起きといった基本的な習慣が充分身につけていない児童もいるようなので、家庭との連携をとりながら一層の充実を図る必要がある。
- ・「友達を大切に」の肯定的評価が 95% とすばらしい。
- ・「読書」のウ 22%は、はたらきかけでよくなると思う。
- ・児童は概ね落ち着いた学校生活を送っている様子がうかがえる。一方で、「読書の習慣」や「早寝早起き」などの生活習慣に関する項目の評価がやや低い点が見受けられた。学校と家庭が連携しながら、継続的に意識づけを図っていくことが大切である。
- ・No.1「学校に行くのが楽しい」、No.4「地域の行事に参加したい」の数値が若干上がっている。このことは大変良いことであり、こうした児童が一人でも多くなることで児童の成長を促していくことができると思う。
- ・家庭や地域でのあいさつ（日本の文化、大事なこと）や地域の行事に参加して欲しいと思う。
- ・タブレットを利用した授業は今後もっと活用されると良い。
- ・読書をしているかでは、スマホ等の影響もあると思われる。
- ・登校時元気に挨拶してくれる子が多い。
- ・アンケートでは、学校が楽しくない子、勉強が楽しくない、よくわからない子が2割近くいるということ、その子なりの居場所や楽しみ、学校の魅力を見つけてほしい。
- ・約8割の子どもたちが学校に行くのが楽しい、また学校での勉強が楽しくよくわかると回答しており、すばらしいことだと思う。今後も継続して頑張ってもらいたい。
- ・友達を大切にしている、仲が良いのもいいことである。地域の行事には、良く参加しているようで児童たちも楽しいとのこと。家の近所で下校時に児童に会うことがあるが、「おかえり」と声をかけると返事をしてくれるのが気持ちいい。
- ・学校へ行き、勉強できることが当たり前ではない、大人が働き、税金を納めて国民一丸で子どもたちを育てている、たくさんの大人たちの思いを分かってほしい。

<保護者の評価について>

- ・学校の教育活動全体に対して高い評価が示されており、学校生活や学習環境に対する信頼の高さがうかがえる。教職員の丁寧な指導や安全への配慮が、保護者の安心感につながっているものと感じる。
- ・児童以上に評価が高い。
- ・読書、手伝いについては親としての厳しい目もあるだろうが、児童アンケートとも一致する部分もあり、どのように向上するのかについて具体的な対策を示唆する。
- ・音楽会の入替制の続きの人の残る希望はスムーズな動線のため不可と思う。
- ・学校と家庭と地域が一体となって、子どもたちの育成を願う。
- ・学校の正面前のアパートの駐車場にお迎えの車を止めるのはいけないとの意見に賛成。苦情が来るのは学校で対応しても難しいと思うので、保護者に周知する必要がある。
- ・雷発生時の登下校方法については、判断が難しいと思うが、危険度も非常にあるので、市教委とも相談してマニュアル等の作成も検討をしてほしい。
- ・保護者アンケートの多くが約9割を超えており信頼の高さがうかがえる一方、意見が分かれるような項目については問題解決に努めていただきたい。
- ・家庭学習や読書の習慣などは中学生になっても引き継がれると思うので、特に低学年では親と一緒に取り組んでほしい。
- ・保護者の方から学校に対しての評価は概ね良い。子どもが複数いる家庭では、学校行事などで大変な部分があるので、保護者と話し合い良い方向にもっていてもらいたい。
- ・通学路の危険箇所について、示してもらえると新居浜警察署と相談の上、対策をしたい。

<教職員の取組>

- ・全体的にはしっかり指導され、結果がついてきていると思うが、生徒指導面や人権教育においての取組の差があると感じている先生方がいる。組織的な対応ができるよう共通認識を固めていくことが大切。
- ・「ワーク・ライフ・バランスの保持」や「人のことを大切にして話を聞く姿勢」において大きな向上が見られ、学校全体で働き方や人間関係を大切にする意識が高まっている。持続可能な学校運営の観点からも評価できる点である。
- ・生徒指導に関して成果も見られ、数値的にもよくなっている。又、問題行動の早期発見・早期対応ができています。早目に対応ができる雰囲気があることが大切と思う。
- ・家庭、地域と連携し、基本的な生活習慣の定着を今後ともお願いしたい。
- ・あいさつや返事は、今後も大切な事なので、指導をお願いしたい。
- ・児童数の多い学校の中で、工夫されて取り組んでくださり、感謝している。
- ・「聞くことを意識した指導」が向上しているので今後も期待している。
- ・運動会などを見ると、若い先生もたくさんいて活気がある印象。「ライフワークバランスの保持」の向上、非常によいことだと思う。
- ・半数以上の設問でプラスになっており、先生方の取り組みが向上していると思う。

- ・教職員間でのコミュニケーションをとり、共に支え合い高め合っている事ができているようなので、もっと積極的に情報発信や対話をして学校の信頼度を高めてほしい。

<学校への提言>

- ・市内最大規模の学校ならではの大変さがあると思う。子どもも保護者も、そして先生方にもいろいろな考えの人がいる。今後もぜひ中萩校区の子どもたちのために頑張ってもらいたい。
- ・読書、手伝いについては親としての厳しい目もあるだろうが、児童アンケートとも一致する部分もあり、どのように向上するのかについて具体的な対策について示唆することも考えられるのではないか。
- ・HPの萩っ子ニュースは、分かりやすく、情報として役立っている。
- ・家庭との連携を深めながら生活習慣や読書活動の充実を図るとともに、人権意識の向上と服務規律の徹底について継続的な取組を期待する。
- ・安定生活や学習習慣の改善に向けて、学校、地域もかかわっていくが、最終は家庭である。家庭での親のあり方、共同認識、ひとり親家庭等があり、なかなかむずかしい問題もあるが、PTA活動等で機会をとらえて、児童の成長のために少しでも意識を高めることが大事と思う。
- ・保護者の方からのご意見多くあったが、じっくり時間を掛けて対処してもらいたい。
- ・元々中萩は、ベッドタウンのような形で人口が急増した地域で最近では自治会加入率も低下して、地元意識が持ちにくい時代となった。子どもたちには、地域のことを学んだり、地域の人々と交流する機会を持ったりすることでいつまでも「ふるさと中萩」を覚えておいてほしい。
- ・毎年、夏場になると全国で子どもの水の事故が発生している。警察、防犯協会事務局とも相談し、小学校のプールを利用した水の事故防止教室を開催したい。
- ・小学校教育は6年間という長いスパンでの教育なので大変だと思う。低学年、中学年、高学年と教えることがそれぞれ違うし、道徳的なことも教えるのもそれぞれ段階があると思うが、人の気持ちが分かる思いやりのある人に育ってほしい。災害が多くなっているので防災訓練、防災教育に力を入れてほしい。
- ・知識と道徳を教え続けていただきたい。